

宇部のコミュニティ・スクール

地域に軸をおくコミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールの取組を進めるときに、「地域」を軸として取組を進めることが大切になります。地域の子どもたちのために学校を支援したいという思いで、保護者や地域の方が学校に入る。自分たちを支えてくれる地域を自分たちの力で大切に、元気にしたいという思いで、子どもたちが地域の行事やボランティアに参加する。このようなコミュニティ・スクールの取組は学校を核とする地域づくりの日常風景になってきました。コミュニティ・スクールである学校は、地域を軸とする取組を意識し、子どもたちを地域とともに育てることが大切だと思います。

◎「コミュニティ・スクール」の取組紹介

東岐波中学校

東岐波中学校の学校運営協議会に参加させていただきました。校長先生が学校経営方針「幸せ」を説明されました。東岐波中学校に集う先生方の幸せ、子どもたちの幸せの実現を学校の経営方針に示されたことは学校運営として大切なことだと思います。

校長先生の思いが学校全体、保護者や地域の方に浸透しているからでしょう。学校教育目標「目標達成に向けて、自ら、仲間とともに、ひたむきに行動する生徒の育成」が承認され、その後の部会別熟議も活発な話し合いが行われていました。部会別協議にPTAの役員の方が2名ずつ参加されていることから、学校・家庭・地域の連携が進んでいると感心しました。東岐波中学校は平成30・31年度小中一貫教育の市モデル校です。コミュニティ・スクールで学校、保護者、地域がつながる。さらに、小中一貫教育で小学校と中学校がつながる。この2つのつながりは、東岐波の子どもたちを大きく成長させる力になると思いました。



【教職員、PTA、地域の方がコミスク充実のため熟議されました。】

藤山中学校区拡大学校運営協議会

藤山中学校区うべ協育ネット協議会が行われました。藤山中学校・藤山小学校、鶴ノ島小学校から、学校運営協議会長や校長先生をはじめとし、学校・家庭・地域の代表の方が参加されました。

まず、中学校区の共通テーマとして「主体的に最後までやりとげる子どもの育成」が確認されました。その後、知・徳・体の3グループに分かれて目ざす子ども像を実現するための課題や取組について熟議が行われました。学力向上、あいさつ、メディアコントロールなど、多くのことが課題や成果として話し合われました。今回の協議の結果を、藤山校区の子どもたちの育ちにつなげるため、8月の小中合同研修会で学校運営協議会の関係者も参加しての熟議を行うことが提案され承認されました。地域ぐるみで、子どもたちを育てるといった協育ネットの取組が計画的になり、また一歩前進したと思いました。



【藤山中学校区の共通テーマ実現に向け熱心な熟議が行われました。】

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp